

第5回『チーム 新・湯治』セミナー

温泉地に求められるトータルデザイン力

～周辺の自然、歴史・文化、食等を活かす拠点としての温泉地～ 開催概要

温泉地の周辺には、自然、歴史・文化、食等の豊かな地域資源が数多く存在しています。これまでも、それらを活かす取り組みがなされてきましたが、温泉地全体やその周辺にフィールドを広げて新たな価値を生み出し、国内外からの来訪者へ提供しようとする試みが続いています。多様な地域資源をどのように組み合わせることで"トータル"で価値ある過ごし方を発信し、それに共感する来訪者を創り出していくのか。

温泉地においてこうした新たな取り組みに挑む旅館経営者をはじめとした地域関係者から、それぞれの温泉地の「総合力」をどのように捉えているか、地域の関係者の巻き込み方、今後の展望などを伺い、温泉地の総合力向上について、チーム員の皆さんと一緒に考えます。

- 日時 : 令和元(2019)年9月12日(木) 14:00～17:00
- 場所 : DAYS 赤坂見附 4階 A会議室

- プログラム : 1. 開会挨拶
- 2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

3. 「世界の期待に応え得る温泉地の総合力の向上を目指して」

講師 : 山中温泉かよう亭 竹内秀次郎氏

- ・かよう亭が進める、地元産業との関係性づくり
- ・地元地域および日本文化の魅力と、それに根ざした旅館の姿を世界へ発信
- ・温泉入浴と温泉地の環境から生まれる「健康」への効能に着目

4. 「温泉と地元産業との連携でつくる新たな価値 ～「嬉野茶時」プロジェクトの目指すもの」

講師 : 嬉野茶時 北川健太氏 副島仁氏

- ・伝統ある地域資源を、新たな視点で総合的にデザインする「嬉野茶時」プロジェクト
- ・温泉旅館と茶農家、そして地元関係者との連携の進め方
- ・地域外の多様な業種・企業とのコラボレーション

5. 意見交換

6. 閉会挨拶

- 備考 : 終了後には、同会場で交流会を開催します。
また、同ビル3階A会議室には、チーム員の方の活動を紹介するスペースを設置しています。是非ご覧ください。

講師プロフィール

たけうちひでじろう

竹内秀次郎 氏（山中温泉かよう亭）

北海道室蘭市生まれ。大学卒業後、一般企業に就職。27歳の時、ホテル業への就職を目指してカナダへ留学。バンクーバーのホテルをはじめ、大阪を含む世界各地の「ザ・リッツ・カールトンホテル」にてゲストリレーションズマネージャー、フロントオフィスマネージャー、宿泊部長代理などを務める。現在、山中温泉「かよう亭」の総支配人として、地域に根ざした魅力ある宿づくりに取り組む。

きたがわけんた

北川健太 氏（嬉野茶時）

嬉野で一番古い歴史を持つ老舗旅館に生まれる。大学卒業後、観光関連企業に就職。25歳の時、15代目に就任。自館においては、「宿泊客 vs 旅館 スリッパ温泉卓球大会」をはじめ嬉野温泉に滞在中のお客様がワクワク感を体感できるイベントを多数考案している。アイデアあふれる旅館経営者であり、またビートルズ・マニアの顔も持つ。

そえじま ひとし

副島 仁 氏（嬉野茶時）

嬉野で長く続く茶農家の4代目として生まれる。静岡にある茶業試験場で学び、東京のお茶問屋に就職。22歳で実家へ戻り、就農。33歳の時に、茶業界初の農業賞 最優秀賞（経営の部）を受賞。現在は茶畑の約半分において、完全無農薬の茶葉を生産。烏龍茶など新しいお茶への挑戦も続けている。嬉野の茶農家を束ねる若きリーダー。

配布資料(13点)

1. 本プログラム
2. 第5回「チーム新・湯治」セミナー参加者一覧及び「チーム新・湯治」チーム員名簿（簡易版）
3. かよう亭が進める取り組みについて【竹内氏 英文資料、3種類】
4. 温泉と地元産業との連携でつくる新たな価値
～「嬉野茶時」プロジェクトの目指すもの【北川氏・副島氏 資料】
5. NEWS LETTER No.3【環境省 資料】
6. 全国温泉地サミット・チーム新・湯治全国大会のご案内
7. 第6回チーム新・湯治セミナー案内【環境省 資料】
8. チーム新・湯治 コンテンツモデル調査 審査結果【環境省 資料】
9. 令和元年度 新・湯治による効果の把握～みんなの新・湯治プロジェクト【環境省 資料】
10. 補助事業に関する資料（再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業／設備の高効率化改修支援事業のうち、温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業）【環境省 資料】
11. アンケート

「チーム 新・湯治」運営事務局【環境省温泉地保護利用推進室】

（平成31年度運営事業者：公益財団法人日本交通公社 チーム新・湯治係【後藤・安谷・有田・岩崎】）

〒107-0062 東京都港区南青山 2-7-29 日本交通公社ビル

TEL：03-5770-8440 FAX：03-5770-8359 E-mail：shintoji@jtb.or.jp【運営事務局】

shintoji-seminar@jtb.or.jp【セミナー申込】